第1回　京都市国際交流・多文化共生審議会　プレゼン資料

伏見青少年活動センターにおける多文化共生分野での取組について

2026/8/20

公益財団法人京都市ユースサービス協会
京都市伏見青少年活動センター
所長／ユースワーカー　大熊　晋

京都市青少年活動センターとは…



○京都市内に７箇所

○京都市内に在住・在学・在勤の
　　中学生～３０歳が対象

○若者の自主的な活動を支援する場

○開館時間
　平日10～21時、日祝は10～18時

○休館日
　水曜日、年末年始（12/29～1/3）

センターの固有テーマ



中央：青少年への総合相談窓口と社会参加の促進

北：若者の環境学習とまちづくり活動へのサポート

東山：若者の創造表現活動の支援

山科：若者のまちづくり活動への参加の機会づくり

下京：スポーツ・レクリエーション活動を通した若者の社会参加

南：若者の居場所づくりの支援（心の居場所づくり）

伏見：多文化共生の地域づくりを担う若者の育成

◆（公財）京都市ユースサービス協会が運営

1988年（昭和63年）3月　市の外郭団体(※)として設立。

※官公庁の組織の外にありながら、その官公庁から出資・補助金を受けるなどして補完的な業務をおこなう団体のこと

2020年（令和2年）12月　市の行財政改革により、自律化。

◆協会のミッション

①若者が本来持っている力を発揮する場づくり

②若者が課題を乗り越えていくための支援

③若者の市民参加、地域社会への参加を促す

④ユースサービスの活動を広く知ってもらうための活動



協会の広報担当
「おたえる」

◆ユースサービスの理念

○子どもから責任ある大人へと成長する青少年を支援すること。

○青少年が、家庭、学校、地域社会、職場などの環境において、
成長していく過程のなかで、必要に応じて助言や情報または
多様な人的・物質的資源が得られるような機会を提供すること。

○青少年自身の意志と自主性を尊重し、若者と協働した豊かな地域
社会を創出すること。

青少年活動センターの役割

①世界が広がるきっかけ

ボランティア活動、セミナー・イベントに参加

家でも学校でもない空間、学校以外の人間関係、同年代との出会い







青少年活動センターの役割

②活動場所の提供

何かしたい時に、場所（部屋）が使える！





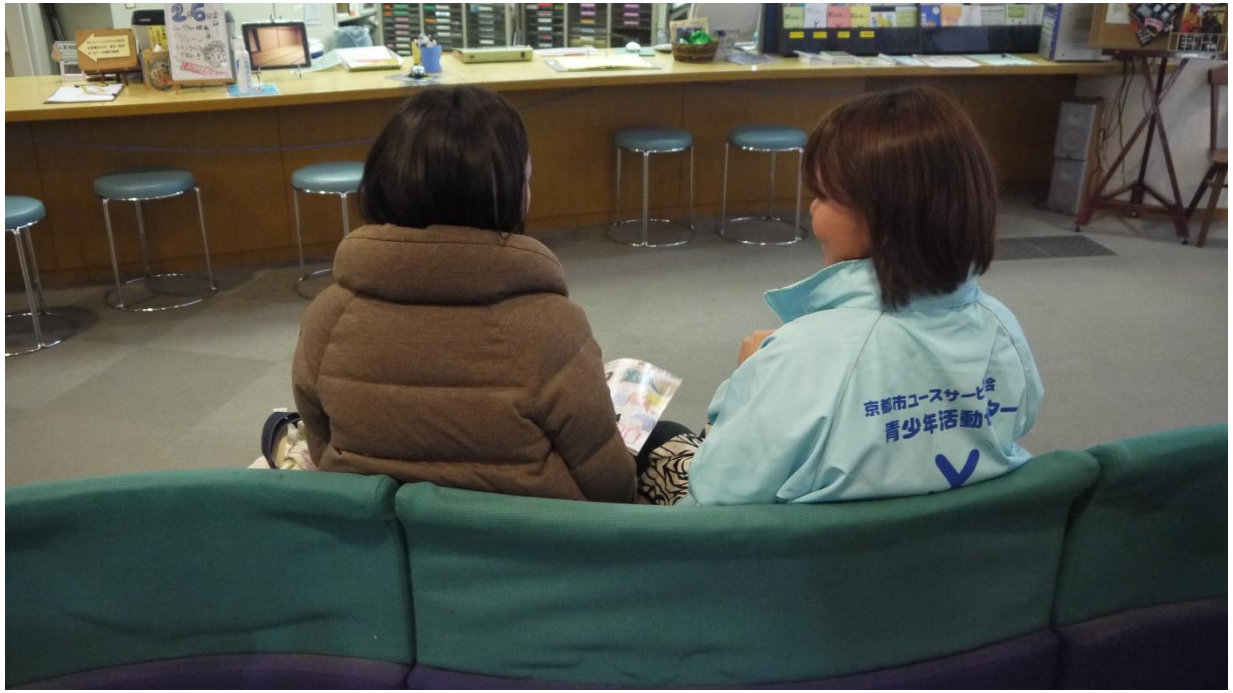


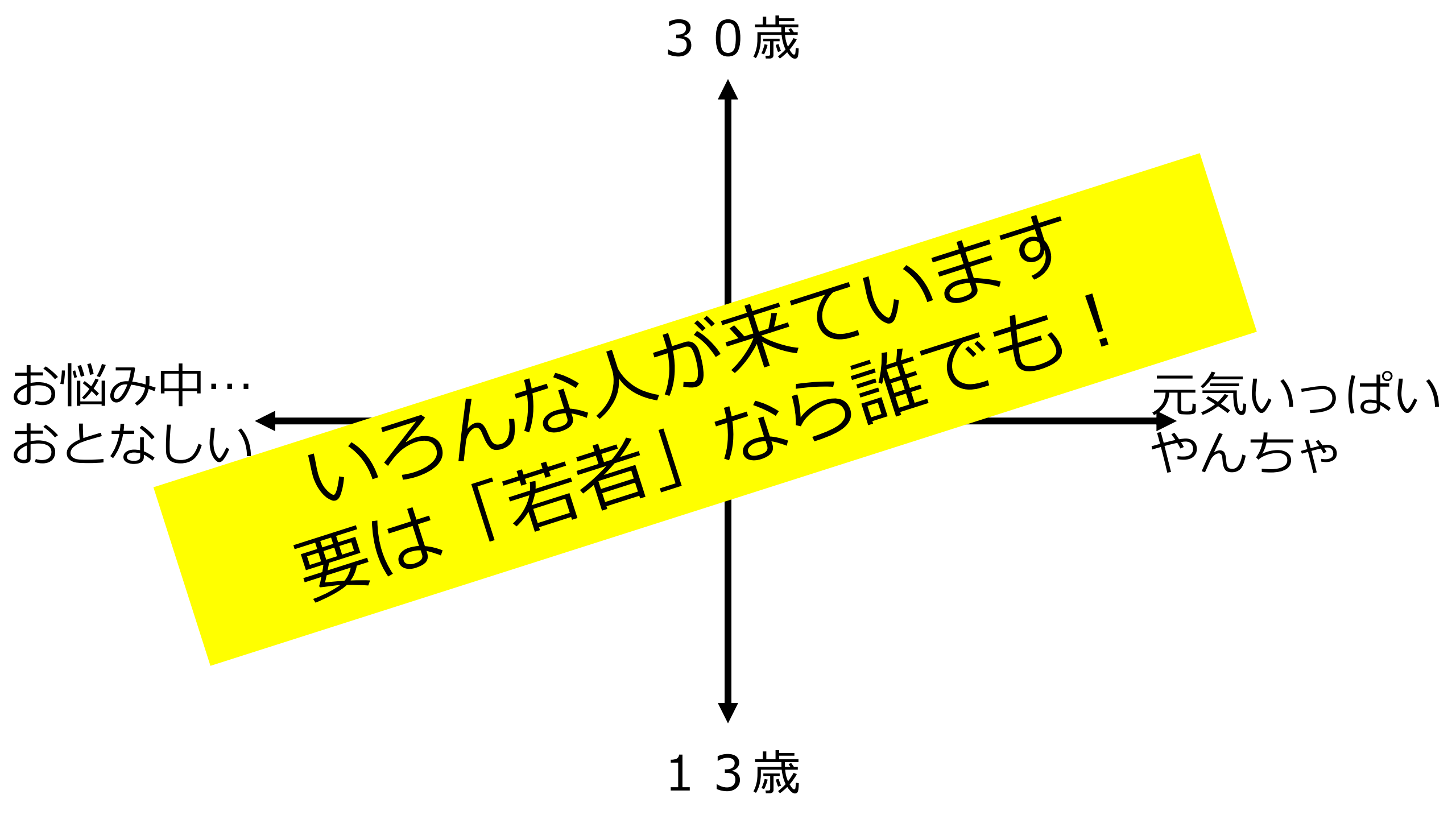


青少年活動センターの役割

③困った時・もやもやした時に相談できる

進路、就職、友人関係、余暇の充実、恋愛など

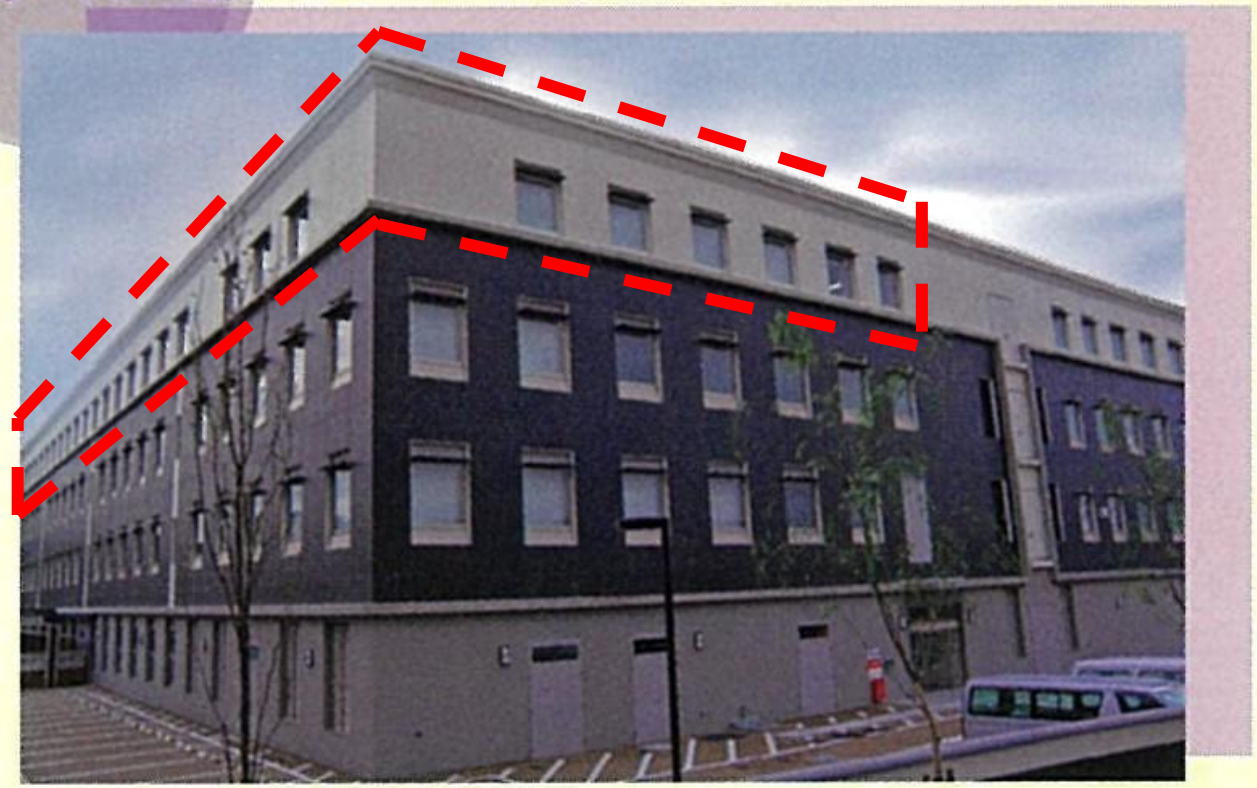



３０歳
お悩み中…
おとなしい
元気いっぱい
やんちゃ
１３歳
いろんな人が来ています
要は「若者」なら誰でも！

本題

伏見青少年活動センターの取組

伏見 青少年活動センター

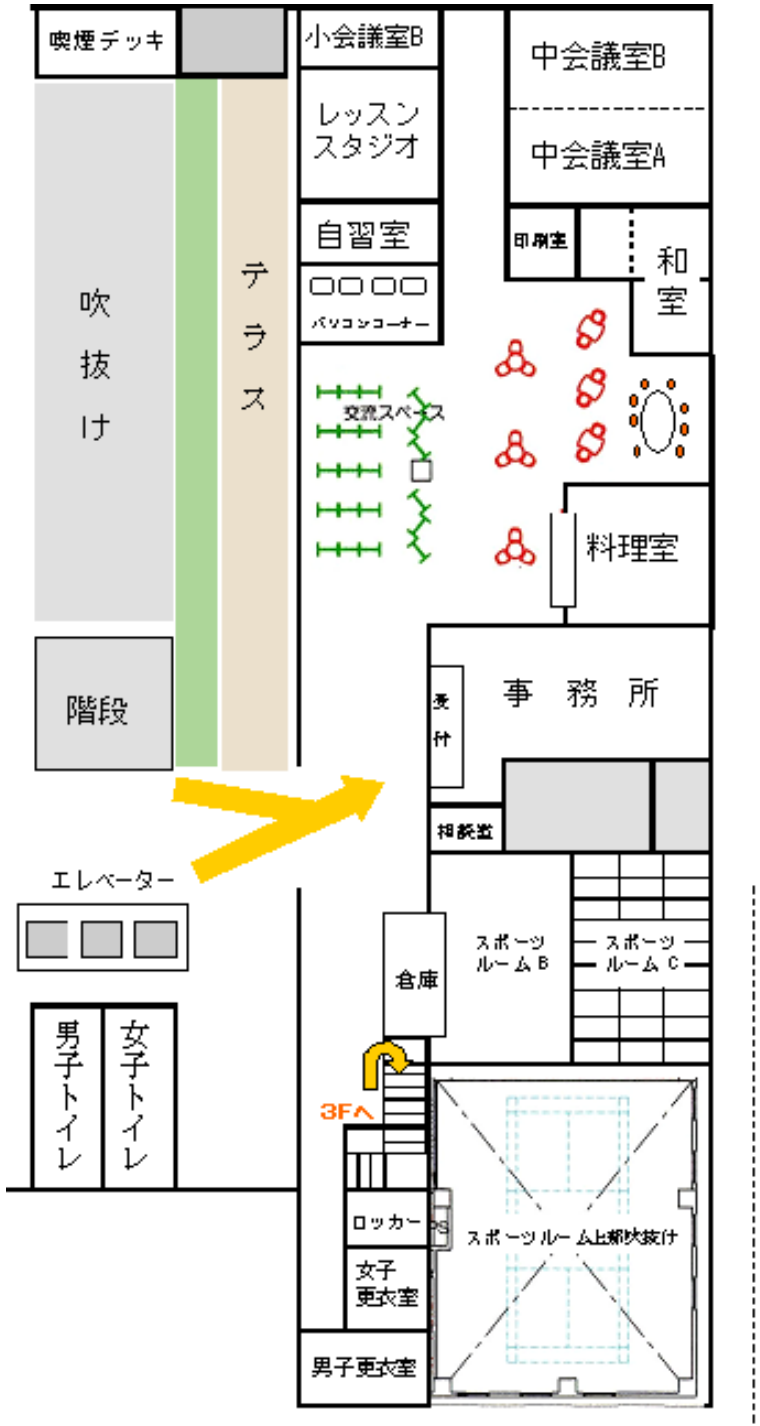


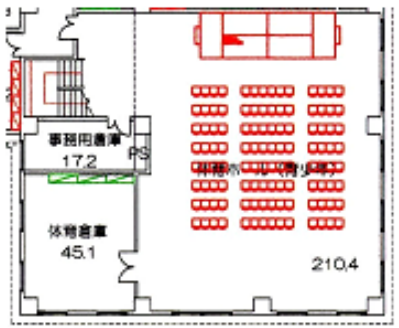
人と人がつながり，ひろがる∞スペース

多文化共生・居場所・地域参画をテーマに，国際交流プログラムや，地域の方と若者によるカフェやライブ，ギャラリーなどを行っています。若者が多文化共生へ一歩を踏みだせる，若者と地域が出逢う，そんな場を目指しています。

〒612-8062
京都市伏見区鷹匠町39-2 伏見区総合庁舎4F
TEL：075-611-4910　FAX：075-604-4910
E-mail：fushimi@ys-kyoto.org
Web：http://www.ys-kyoto.org/fushimi/

伏見区総合庁舎　４階東側部分





○延べ床面積：1,116㎡

○2010年1月　総合庁舎の中に移転。
※青少年活動センターのフロアは
青少年の意見を反映して設計。

○各部屋は多用途に使える仕様

○スポーツルーム（体育館）、
対面キッチンにもなる料理室、
広いロビー空間が特徴。

2026年度の取組

多文化共生事業

-海外ルーツの方に向けた日本語教室（月3回）
「にほんご教室」
-海外ルーツの若者の学習支援と生活支援（月3回）
「まなびぷらす」
-海外ルーツの若者との交流（月2回）
「TABUNKAひろば」
-多文化体験ができるイベント
「ふしみんオープンデイ」

地域交流・連携・参加事業

-地域の団体・機関と連携した取組
（区役所・関係機関・地域団体・NPO・市民グループとの協働や連携）
例）**「子ども若者食堂」**(月1回×３団体)
「ロビーギャラリー」(不定期)
-センターがない所へのセンター機能の持ち出し
「アウトリーチ」「向島ユースセンター」

居場所づくり支援事業

-自身の価値観を言語化／他者の価値観に触れる
「ロビー掲示板プログラム」
-安心して過ごせる場、また来たくなる場
「ポイントカード」「自習室」
「フリータイム」
「外国人の若者のためのスポーツタイム」

自主活動支援・担い手育成事業

-“こんなことしたい”をカタチにするサポート
「自主活動支援事業」
-新しいことにチャレンジできる機会
「ボランティア育成」「インターン」

相談・支援事業

-若者への相談・情報提供
「京都ユースクリニック」「個別相談」
-就労体験事業（京都若者サポートステーション連携）
-中学生学習支援事業（各拠点、毎週）
「STEP」「向島ぷらす」「深草町家学習会」

テーマに沿った取組 「TABUNKAひろば」

・海外にルーツを持つ若者と日本の若者が出会い、料理やスポーツ、ゲームやおしゃべりなどを通して交流する場。

・月2回　日曜日　14:30～16:30












TABUNKA ひろば
14:30 ～ 16:30
開催中・出入り自由

テーマに沿った取組 「オープンデイ」

・センターまつり。区の「伏見ふれあいプラザ」と同日開催。多文化を体験できる機会。

・センター事業に参加する立場（ゲスト）から、提供する立場（ホスト）になる経験。

・年1回






CHOI CHUYỀN






HARIBO









テーマに沿った取組　「外国人の若者のためのスポーツタイム」

・スポーツをしたいが…「場所や機会がない」「一緒にする人がいない」「予約方法が複雑」。

・日本で暮らす外国人の若者を対象に、気軽にスポーツができる場を提供。

・月１回　第4日曜　13:00～15:00











やりたいことにチャレンジ 「自主活動支援」

・若者の「こんなことをしてみたい」をサポート。

・機会や場所の提供、物品貸出、広報サポート、企画へのアドバイスなど。

トトロ企画（中国料理紹介）







グリアン・マックス企画（タイカフェ）













マックス企画（モルドバ料理紹介）











多様な年代が集えるロビー　近隣の中高生の「居場所」

（遊び・おしゃべり、スポーツ、勉強など）





青少年活動センターらしい多文化共生の取組とは…

・国内⇔海外といったくくりではなく、他者と自分の違いも多文化として捉える。
・いかなるルーツ、考えを持っている人にとっても、居心地のいい空間である。
・これから社会に出る若者が、多文化共生社会について考えるきっかけとなる。

異なる価値観に、知らぬ間に
「出会う」 ⇒



興味を持ったら…
「体験する」 ⇒



おもろいなと思ったら…
「担い手となる」



ご清聴ありがとう
ございました

補足いろいろ

テーマに沿った取組「にほんご教室」

・２０年以上続いています！
・地域に暮らす、日本語を母語としない多文化ルーツの市民が対象。
・にほんご検定試験の対策やフリートークなど、個別ニードに
　寄り添い、マンツーマンか少人数制で指導。
・教えるのは１８歳～３０歳までの青少年ボランティア。
・日本語教師を目指す学生や、国際交流に関心のある学生、
　多文化ルーツの方の力になりたい、と考える社会人など。
・月3回　土曜日　10:30～12:00











テーマに沿った取組 「まなびぷらす」

・「日本語を学びたい」「日本語での学習に自信がない」
　「進路選択の場面で不安がある」など、
　海外ルーツの若者を対象とした学習支援。
・学習面だけでなく、生活面での困りごともサポート。
　　例）オープンスクールのエントリーをサポート
　　入学時に提出する書類の記入の仕方をサポート、
　　国勢調査の回答をサポート、など
・月3回　第1・第2・第4金曜　18:00～20:00



地域の団体と連携した「子ども若者食堂」

・夕方の時間帯、お腹を空かせた若者を中心に、誰でも食べに来れる場。

・地域団体、民間事業者、事業ボランティアなど、多様な実施主体がそれぞれ活動。







伏見青少年活動センター
（元・伏見青年の家）
の
変遷

1965年（昭和40年）開所　（ ‘60年中京、’62年西陣（現・北）に次ぎ3か所目）

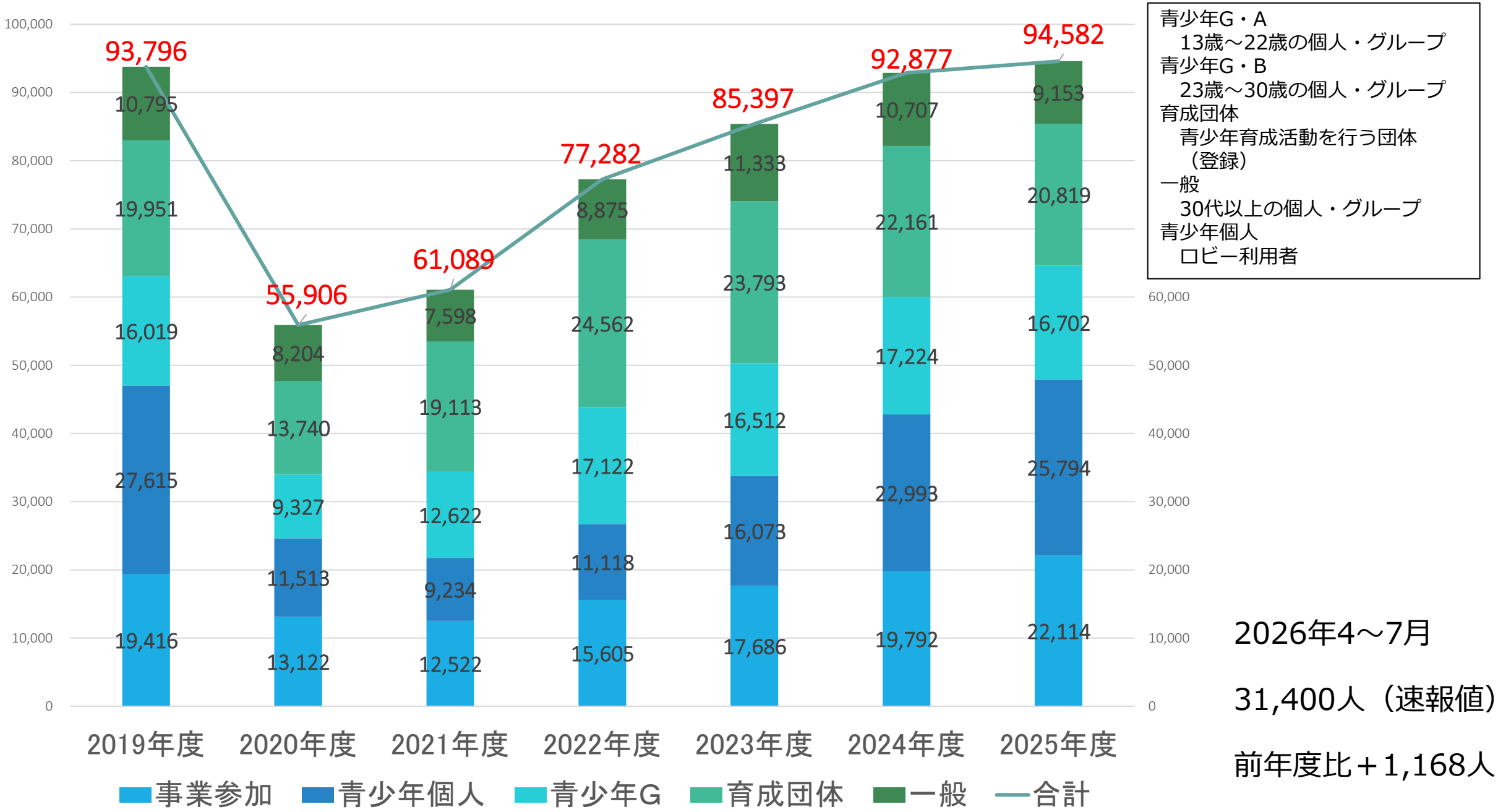
1998年（平成10年）「国際・多文化」事業が始まる

2001年（平成13年）
「青年の家（勤労青少年ホーム）」から「青少年活動センター」へ
利用対象が中学生まで広がる
「働く若者の憩いの場」→「青少年の自主的な活動の支援」に

2010年（平成22年）伏見区総合庁舎に移転、リニューアルオープン

利用状況

伏見センターの利用人数推移（2019年度～2025年度）



青少年G・A
　13歳～22歳の個人・グループ
青少年G・B
　23歳～30歳の個人・グループ
育成団体
　青少年育成活動を行う団体
　（登録）
一般
　30代以上の個人・グループ
青少年個人
　ロビー利用者

2026年4～7月

31,400人（速報値）

前年度比＋1,168人

「ふたつの側面からの青少年支援を実施」

顕在化した課題に焦点をあて

課題解決を手助けする

- ひきこもり支援
- 就労支援、中間就労の仕組み作り
- 相談活動
- 学習支援、高校中退予防
- ピアサポートの実施

等

役立ち感や達成感、葛藤を経験できる様々な機会、場の提供を通して

青少年の成長を促す

- 居場所づくり
- 放課後の余暇支援
- 文化活動、スポーツ等の活動支援
- ボランティア活動
- まちづくり等の地域参画

等